

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
ヘルスアセスメント 方法論Ⅱ	1年次 後期	必修	講義	1単位(30時間)	小林 大輔 ※
授 業 概 要					
<p>看護の対象者を看護学的視点から理解できるように、対象者の健康状態(行動)を客観的・主観的に明らかにして、その状態は日常生活や社会生活にどのような影響があるのかアセスメントする能力(知識・技術・態度)を習得する。ここでは、さまざまな設定事例と『関わり』ながら、ヘルスアセスメント方法論Ⅰの身体的側面の情報も併せ、ヘルスアセスメント方法の確立を目指す。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 人間は身体・心理・社会的側面が密接に関連していることを理解できる。 2. 人間を身体的・心理的・社会的な側面から、アセスメントすることの必要性を理解する。 3. 看護過程におけるヘルスアセスメントの位置づけを理解できる。</p>					
実務経験のある教員					
小林 大輔、鹿島ゆかり：看護師としての実務経験を踏まえてヘルスアセスメントを教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<p>1. ヘルスアセスメントの概要(看護過程における位置づけ) 2. 事例解説と事例演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「息をする」の心理・社会的アセスメント ・「生命維持」の心理・社会的アセスメント ・「動く」の心理・社会的アセスメント ・「食べる」の心理・社会的アセスメント ・「排泄する」の心理・社会的アセスメント ・上記各々に対応したヘルスアセスメント方法論①+②を利用した事例演習 				<p>小林 大輔 ※ 鹿島ゆかり ※ 他</p>
学 習 方 法					
講義・グループワーク・紙上事例展開(演習)					
評 価 方 法					
<p>[評価方法] 科目修了試験・紙上事例分析結果</p>					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>[教科書] 日常生活行動から見るヘルスアセスメント 看護形態機能学を用いて 大久保暢子編集 日本看護協会出版会 看護 形態機能学 生活行動から見るからだ 菱沼典子 日本看護協会出版</p>					